

# メンバーに聞く

国学院久我山高校ラグビー部現役時代の思い出・今

## 高橋 富男 17期 TB13

インゴール・ノックン

高校時代の思い出を書けと言われた。同期の連中から「お前は何も覚えてないナー」と言われている。確かにラグビー部にいつ入ったのか、なぜ入ったのか全く覚えていない。何となく練習に出たり、休んだり。そして何となく乗った合宿行きのバス。これが運のつきで本格的にラグビーとの長い付き合いが始まったと思う

そんな中、覚えているのは二年時（昭和39年）相手チームがどこだったか忘れたが、勝てば久我山高が関東大会に初出場という試合で、パスを受け（これも誰からか覚えていない）インゴールへ持ち込み、逆転のトライを決めたと思った瞬間に手からボールがこぼれて、痛恨のインゴールノックン、そのまま敗戦自分の軽率なプレーで関東大会の初出場が消えてしまい、先輩を始め皆に申し訳なく、自分が情けなく悔しかった。後日それでも関東大会へ出場できると連絡を受けた時、心底ホッとした事を今でも思いだす。練習を苦しいとか、辛いとか、辞めたいなどと思ったことは無いが、あのミスプレーがラグビーに対する姿勢を前向きにしたように思う。



中央が高橋富男選手  
後列、左は小松選手  
右は 17期若林茂君  
(昭和40年・三年時)

参考までに

この試合は昭和39年9月13日、園芸高校との試合であり、都予選を通じて試合内容、実力マナー等が認められ、9月19,20日の2日間、山梨県甲府市で行われた大会の出場権を得た。本大会は横浜南高校を相手に11-0で快勝。初出場を飾った。

マコちゃんズ監督

# 中村 誠先生

メンバーを語る

17期 高橋富男の思い出

高橋富男。兄貴（高橋敏雄）が久我山中学校・高校とも私と同級生。柔道部主将で確か当時、二段だったと記憶しているが大外刈りが得意技で、よくブン投げられたものです。その弟が富男。何を考えているのかわからない、いつも、ボ～とした奴でした。ただ足が速い！！人に強い！！W-TB、C-TBとして活躍した。日体大に進み2年でレギュラー、3年生の時に日本選手権で社会人も破り日本一に

当時（昭和四十四年）の朝日新聞の切り抜き  
六十ヤード独走トライの高橋富男



卒業後、千葉国体の強化選手として千葉県  
の高校に就職、教員になれてしまう・・・  
校内一番の美人の生徒（校長先生の娘）を  
嫁にして以来、OB会にもラグビー界にも  
殆ど出てこず、もっぱら子作り・・・！！  
兄貴の敏雄は亡くなり、本人もオジイチャン  
定年退職後、今度はもっぱら畑でイモ等  
作っていると聞く。

皆、歳をとリ

久我山ラグビーの選手達は皆、孫の年代です。

曾孫の年代になっても、常に全国のトップを狙うチームであって欲しい。

選手も、指導者もガンバレ！！

中村 誠